

博物館実習（館園実習）を受けるにあたって ー実習生のみなさんへー

重要

実習を受けるにあたって、下記の留意事項を熟読し、遵守すること。
なお、留意事項を守らない場合、本実習の受講を取り消すことがある。

実習前の留意事項

- 1 実習の2週間程度前から、毎朝の検温及び風邪症状の確認を行い、感染リスクの高い場所に行く機会を減らすこと。実習中は、これに加えて、手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策を徹底するとともに、マスクは常時装着するなど一層の対策を行うこと。
- 2 家族等に感染が確認されるなど自身が濃厚接触者に特定された場合は、感染者と最後に接触した日から起算して2週間は実習に参加することはできない。
- 3 本実習を3日以上欠席の場合、単位認定は行わない。

実習中の留意事項

- 1 欠席は原則として認めないが、やむをえない事情が生じたときは実習担当に事前に相談すること。とくに、発熱等の風邪症状やその他体調不良がみられる場合には、必ず実習担当へ可能な限り速やかに連絡した上、自宅で休養すること。
- 2 感染が判明した場合や、地域の感染拡大の状況等により、当館として実習を急遽中止せざるを得ない場合、大学、当館、実習生が速やかに連絡を取り合うこととする。